

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 業務名 | 備讃瀬戸航路埋没対策技術課題検討業務 |
| 2 所属事務所 | 高松港湾・空港整備事務所 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日または選定通知 | 令和7年4月4日 |
| 5 公示日 | 令和7年3月14日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年5月27日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(一財)沿岸技術研究センター	有	

プロポーザル評価表

1. 件名

備讃瀬戸航路埋没対策技術課題検討業務
2. 所属事務所

高松港湾・空港整備事務所
3. 技術提案書の特定通知日

令和7年5月27日

業 者 名		技術評価点の内訳				技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 資格及び実績等	配置予定技術者の 成績及び表彰	特定テーマ			
				特定テーマ1	特定テーマ2		
評価のウェイト		20	30	170		220	
(一財)沿岸技術研究センター		14	28	156		198	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 業務名 | 備讃瀬戸航路埋没対策技術課題検討業務 |
| 2 所属事務所 | 高松港湾・空港整備事務所 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和7年3月14日 |
| 5 選定通知日 | 令和7年4月4日 |

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
(一財)沿岸技術研究センター	有	

【令和7年度 公募型・簡易公募型プロポーザル方式業者選定資料】

件名	備讃瀬戸航路埋没対策技術課題検討業務			ランク：建設コンサルタント等 A等級 技術者の資格：・技術士（総合技術監理部門（建設）又は建設部門） ・博士（業務に該当する分野） ・海洋・港湾構造物設計士 ・APECエンジニア（業務に該当する部門） ・土木学会特別上級技術者、土木学会上級技術者又は土木学会1級技術者 ・RCCM（港湾及び空港部門）又は同等の能力を有する者（技術士部門と同様の部門に限る。）。 但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者	
	本業務は、備讃瀬戸北航路（水島航路交差点）における海底土砂移動の検証・推測を行うとともに、備讃瀬戸北航路等における効果的な埋没対策技術等の技術課題について検討するものである。 ・計画準備 1式 ・学識経験者の意見把握 1式 ・資料収集・整理 1式 ・協議・報告 1式 ・土砂移動の検証・推測 1式 ・成果物 1式 ・技術課題の検討 1式 ・3次元モデルの更新 1式			契約形態：簡易公募型プロポーザル方式 企業の同種業務実績：航路における以下の①及び②を実施した業務の実績 （①、②は別件業務で可） ①海底土砂の移動を検証した業務 ②海底土砂の埋没対策の検討を実施した業務 企業の類似業務実績：設定しない	
業務概要・数量				技術者の同種業務実績：航路における以下の①又は②を実施した業務の実績 ①海底土砂の移動を検証した業務 ②海底土砂の埋没対策の検討を実施した業務 技術者の類似業務実績：設定しない	
	業務区分		業務の等級	発注形態	
	建設コンサルタント等		A	単体	
技術提案書のヒアリング実施日	入札予定日		履行期間	設計共同体	
—	令和7年6月11日		令和8年1月30日		
				特定テーマ：本業務において、特記仕様書に示す検討対象想定範囲②における効果的な埋没対策技術を検討する上での課題、着眼点及び解決方法について	

[illegible]